

2023年度秋季大会の報告

2023年度秋季大会は、仙台国際センター会議棟（宮城県仙台市青葉区青葉山無番地）で2023年10月23日（月）～10月26日（木）に行われた。参加者は875名であった（第1図）。

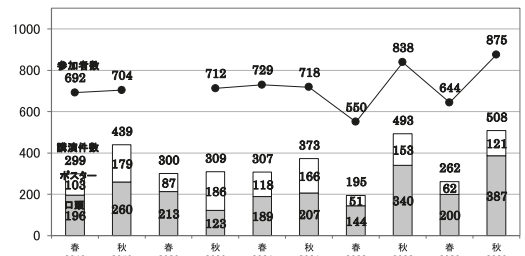
大会は、一般講演、並びに特定のテーマに基づいて世話人が編成する9件の専門分科会で構成された。発表は、対面形式の口頭セッションとオンライン会議システムを用いたライブ形式のポスターセッションで行われた。一般講演の発表件数は356件（内、口頭発表234件）、専門分科会は152件（すべて口頭発表）で計508件であった。

2日目午後には、各賞の表彰式が行われた。表彰式では大会実行委員長、理事長の挨拶に始まり、謝尚平氏と高薮縁氏に藤原賞が、塩竈秀夫氏に堀内賞が、岩切友希氏と柳瀬友朗氏に山本賞が、伊藤忠氏と小気候団体研究会に小倉奨励賞がそれぞれ授与され、藤原賞、堀内賞、山本賞の受賞者による記念講演が行われた。その後、小倉特別講義が、コロナ禍前の2019年以来4年ぶりに開催された。また、小倉特別講義連携セッションが3日目午前に開催された。

大会期間中には個別のテーマによる6件の研究会が開催された。またハイブリッド形式で女性会員の集いが開かれた。

今大会では初めての試みとして口頭発表のオンライン配信を行った。オンライン配信では大きなトラブルもなく、スムーズに運営された。

会員の皆様には大会全般に関するアンケート調査に



第1図 過去5年間の大会参加者数と講演件数（口頭、ポスター）。2020年度秋季大会から2022年度春季大会のポスターの件数は、オンラインポスター講演のみを実施した講演の件数。2020年度春季大会は予稿集の発行により大会開催としたため、参加者数は未集計である。

ご協力頂き、誠にありがとうございました。

今大会の開催に当たり、19の企業・団体からご協賛・ご協力ならびにリクルートブースのご開設を頂きました。厚く御礼申し上げます。

今大会の実施には広報委員会、人材育成・男女共同参画委員会の皆様にご協力を頂きました。

最後に、大会実行委員会として大会準備・運営にご尽力頂いた仙台管区气象台、東北大学、日本気象協会東北支社、日本気象予報士会東北支部の皆様へ深く感謝の意を表します。

2023年10月 講演企画委員会